

## 6. 消費の現状

### ■牛乳の種類

現在、日本で市販されている牛乳類には、「牛乳（成分無調整）」「特別牛乳」「低脂肪牛乳」「無脂肪牛乳」「成分調整牛乳」「加工乳」「乳飲料」の6種類があります。これらの表示や成分規格は、食品衛生法に基づく「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」（＝乳等省令）で規定されており、さらに表示については、牛乳業界が自主的に規制する「飲用乳の表示に関する公正競争規約」（略して公正競争規約）で詳しく定められています。

#### 「牛乳」

牛から搾った生乳を加熱殺菌しただけのもので、100%純粋な牛の乳です。生乳以外のものを混ぜることは禁止されており、乳脂肪分3.0%以上、無脂乳固形分（牛乳から乳脂肪分と水分を除いた成分）8.0%以上のものをいいます。また、紙容器の多くには、目の不自由な人などにも簡単に「牛乳」と分かるように、容器の上部に半円形の切欠きがつけられています。

#### 「特別牛乳」

特別牛乳はさく取処理業の許可を受けた施設で搾った生乳を処理して製造したものです。乳脂肪分は3.3%以上、無脂乳固形分は8.5%以上で「牛乳」より濃厚です。

#### 「低脂肪牛乳」

生乳から乳脂肪分だけを取り除き、乳脂肪分0.5%以上1.5%未満、無脂乳固形分8.0%以上に調整したもので、「牛乳」と同じく原材料は生乳だけです。

#### 「無脂肪牛乳」

生乳から乳脂肪分のほとんどを取り除き、乳脂肪分0.5%未満、無脂乳固形分8.0%以上に調整したもので、これも原材料は生乳だけです。

#### 「成分調整牛乳」

生乳から特定の成分のみを取り除いたもので、これも原材料は生乳だけです。例えば、乳脂肪分1.5%以上3.0%未満、無脂乳固形分8.0%以上に調整したもの等はこれに分類されます。

#### 「加工乳」

生乳にバター、クリーム、脱脂粉乳などの乳製品を混ぜたもので、無脂乳固形分8.0%以上と定められています。

#### 「乳飲料」

生乳やバター、クリーム、脱脂粉乳などの乳製品の他に、コーヒー抽出液や果汁、鉄やカルシウムなどのビタミン・ミネラル分など本来乳には含まれていないものを加えたものです。



図 7：牛乳類の種類

牛乳類の規格

(乳等省令による)

種類別	成分規格		衛生基準	
	乳脂肪分	無脂肪固形分	細菌数(1ml中)	大腸菌群
牛乳	3.0%以上	8.0%以上	5万以下	陰性
特別牛乳	3.3%以上	8.5%以上	3万以下	
成分調整牛乳		8.0%以上	5万以下	
低脂肪牛乳	0.5%以上1.5%以下			
無脂肪牛乳	0.5%未満			
加工乳				
乳飲料	乳固形分3.0%以上(公正競争規約による)		3万以下	陰性

## ■牛乳乳製品の消費量

日本における牛乳乳製品の消費量は、1965年（昭和40年）には国民1人当たり、生乳換算で年間約38kgでしたが、2014年（平成26年）には約2.4倍の約90kgとなりました。牛乳乳製品の総消費量は、約1,169万トンとなり、米の約880万トンを抜いて、国内では野菜の次に需要の多い品目となっています。また、牛乳は国内生産100%という、高い自給率を維持しています。**表13**

しかし、欧米に比べると1人当たりの消費量はまだまだ低いのが現状です。

他国との比較で2013年の数値を見ると、飲用牛乳の消費量は、年間1人当たり約30.8kgで、イギリスやデンマーク、オーストラリアの約1/3、アメリカの1/2以下となっています。**表14**

ちなみに主要乳製品であるバターは、年間1人当たり0.6kgで、イギリスの約1/5、最も消費量の多いフランスの約1/13。さらにチーズを見るとイギリスの約1/5、フランスの約1/12となっており、戦後の食生活洋風化を代表する飲料・食品の消費量としては、かなり少ないといえます。

日本における消費は、牛乳はそのまま飲む、バターはパンに塗るだけ、チーズならお酒のオツマミやピザにといった使われ方が大部分です。欧米ほど料理に利用していないことを考えると、牛乳乳製品の潜在的ニーズはかなり高いといえます。

表13：牛乳乳製品の国民1人1年当たり消費量（消費仕向け量）の推移

(単位：kg、%)

年度	生乳単位						乳製品単位		
	牛乳及び乳製品		飲用向け		乳製品向け		脱脂粉乳	バター	チーズ
		対前年 増減率		対前年 増減率		対前年 増減率			
昭和40年	37.5	5.9	18.4	8.2	17.7	2.9	0.8	0.3	0.2
45年	50.1	5.9	25.3	4.1	23.7	8.7	0.8	0.4	0.4
50年	53.6	3.5	28.1	4.5	24.8	2.9	1.0	0.5	0.5
55年	65.3	0.9	33.9	1.8	31.0	0.6	1.2	0.6	0.7
60年	70.6	▲1.0	35.2	▲1.1	35.0	▲0.8	1.5	0.7	0.8
61年	71.3	1.0	35.3	0.3	35.5	1.4	1.5	0.7	0.9
62年	75.8	6.3	37.2	5.4	38.1	7.3	1.5	0.7	1.0
63年	81.3	7.3	38.9	4.6	42.0	10.2	1.6	0.7	1.2
平成元年	80.6	▲0.9	39.8	23.0	40.5	▲3.6	1.5	0.7	1.1
2年	83.2	3.2	40.8	2.5	42.1	4.0	1.7	0.7	1.1
3年	84.8	1.9	40.8	0.0	43.6	3.6	1.7	0.7	1.2
4年	83.5	▲1.5	40.6	▲0.5	42.6	▲2.3	1.7	0.7	1.3
5年	83.5	0.0	39.9	▲1.7	43.3	1.6	1.7	0.7	1.4
6年	89.8	7.5	41.6	4.3	47.9	10.6	1.8	0.7	1.4
7年	91.2	1.6	40.6	▲2.4	50.4	5.2	1.8	0.7	1.5
8年	93.3	2.3	40.8	0.5	52.1	3.4	1.8	0.7	1.6
9年	93.2	▲0.1	40.2	▲1.5	52.8	1.3	1.8	0.7	1.6
10年	92.4	▲0.9	39.3	▲2.2	52.8	0.0	1.8	0.7	1.7
11年	93.0	0.6	38.6	▲1.8	54.3	2.8	1.7	0.7	1.8
12年	94.2	1.3	39.0	1.0	55.0	1.3	1.5	0.7	1.9
13年	93.0	▲1.3	38.1	▲2.3	54.7	▲0.5	1.4	0.7	1.9
14年	92.9	▲0.1	39.2	2.9	53.5	▲2.2	1.4	0.7	1.8
15年	93.0	0.1	38.5	▲1.8	54.4	1.7	1.4	0.7	1.9
16年	93.9	1.0	38.0	▲1.3	55.7	2.4	1.4	0.7	2.0
17年	91.8	▲2.2	36.7	▲3.4	54.9	▲1.4	1.5	0.7	1.9
18年	92.2	0.4	35.8	▲2.5	56.3	2.6	1.4	0.7	2.0
19年	93.3	1.2	34.9	▲2.5	58.1	3.2	1.5	0.7	2.1
20年	86.3	▲7.5	34.2	▲2.0	51.8	▲10.8	1.2	0.6	1.7
21年	84.8	▲1.7	32.7	▲4.4	51.9	0.2	1.2	0.6	1.9
22年	86.4	1.9	31.8	▲2.8	54.5	5.0	1.3	0.7	1.9
23年	88.6	2.5	31.6	▲0.6	56.8	4.2	1.2	0.6	2.1
24年	89.5	1.0	31.1	▲1.6	58.2	2.5	1.1	0.6	2.2
25年	89.0	▲0.6	30.8	▲1.0	58.0	▲0.3	1.1	0.6	2.2
26年	89.6	0.7	30.4	▲1.3	59.0	1.7	1.1	0.6	2.2

資料：農林水産省「食料需給表」

表 14：酪農の国際比較（2013 年）

区分	単位	オランダ	フランス	ドイツ	デンマーク	イギリス	カナダ	アメリカ	オーストラリア	NZ	日本	北海道	
経産牛飼養頭数	千頭	1,553	3,694	4,268	567	1,817	959	9,221	1,690	4,784	893	470	
飼養農家戸数	千戸	18	72	80	4	14	12	58	6	12	19	7	
1 農家当たりの経産牛飼養頭	頭	86	51	54	149	128	78	159	268	402	48	68	
生乳生産量	千 <sup>ト</sup>	12,408	24,407	31,326	5,161	13,942	8,594	91,272	9,516	19,449	7,447	3,849	
1 頭当たりの平均搾乳量	k g	7,934	6,656	7,340	9,027	7,630	8,303	9,898	5,635	4,065	8,198	8,056	
乳製品生産量	チーズ	千 <sup>ト</sup>	794	1,776	2,268	325	346	343	5,055	305	311	134	-
	バター	千 <sup>ト</sup>	214	380	480	43	145	93	847	121	525	64	-
	脱脂粉乳	千 <sup>ト</sup>	65	328	316	46	65	74	963	211	409	129	-
1人当たりの消費量	飲用乳	k g	49.0	54.0	53.8	88.3	105.4	77.3	73.9	110.0	99.9	30.8	-
	チーズ	k g	18.6	25.9	24.3	-	11.6	12.2	15.4	13.7	8.7	2.2	-
	バター	k g	3.0	7.9	6.2	1.8	3.3	2.8	2.5	3.7	4.9	0.6	-
生乳の生産者価格	円/kg	55.6	43.8	49.2	52.2	48.1	72.2	43.5	46.4	60.5	91.3	82.4	

資料：IDF『世界の酪農状況』、AMI「Marktbilanz Milch2011」、CDC「ANNUAL REPORT」、USDA「Milk Production」、DairyAustralia「Australian Daily Industry In Focus」、LIC「Dairy Statistic」、農林水産省「畜産統計」「牛乳乳製品統計」「農作物価統計」  
 注意：NZの経産牛飼養頭数・飼養農家戸数・1農家当たりの経産牛飼養頭数・生乳生産量・1頭当たりの平均搾乳量、米国の飼養農家戸数・1農家当たりの経産牛飼養頭数は2012年度の数值。  
 為替レートは、三菱東京UFJ銀行調べ（T T S相場）を使用。  
 生乳生産量及び1頭当たりの平均搾乳量について、米国は1ポンド=0.45kg、豪州およびNZは1リットル=1.03kgを用いて換算。

■牛乳の小売価格の動向

牛乳の販売価格は年々低下する傾向にあります。スーパーマーケットにおける牛乳1リットル紙容器での販売価格をみると、160円以下での販売量は、2001年（平成13年）には19.5%だったものが2007年（平成19年）には56.6%を占めるまでになっています。

しかし、2006年（平成18年）から世界的に穀物需給がひっ迫し、国際市況が高騰したことを背景に、2008年（平成20年）から2年にわたり飲用向け乳価の引き上げが行われ、このことに伴い飲用牛乳の小売価格も引き上げられました。この結果2008年（平成20年）の160円以下での販売量は29.2%、2009年（平成21年）は10.5%に減少しました。

また、スーパーマーケットにおける牛乳の価格形成について1リットル容器1個当たりの平均でみると、小売価格は213.7円で、仕入れ価格は177.9円です。粗利益率は16.7%となっています。表15 表16

表 15：飲用牛乳の価格帯別数量の構成比の推移

(スーパーマーケットにおける 1 リットル紙容器の牛乳の価格帯別数量の割合)

年月 価格 (円)	13年 9月	14年 9月	15年 9月	16年 9月	17年 9月	18年 9月	19年 9月	20年 9月	21年 9月
～150	8.0	8.6	15.2	19.4	29.1	24.4	36.9	8.4	-
151～160 (160円以下)	11.5 (19.5)	9.4 (18.0)	19.6 (34.8)	18.9 (38.3)	13.7 (42.8)	19.3 (43.7)	19.7 (56.6)	20.8 (29.2)	10.5 (10.5)
161～170	14.4	15.7	16.1	13.3	17.3	13.5	9.0	25.8	30.5
171～180 (180円以下)	20.6 (54.5)	12.2 (45.9)	14.8 (65.7)	17.2 (68.8)	9.5 (69.6)	9.3 (66.5)	10.7 (76.3)	10.9 (65.9)	4.7 (45.7)
181～190	13.8	16.5	7.5	9.4	8.5	7.3	5.8	9.0	15.0
191～200 (200円以下)	21.9 (90.2)	16.5 (78.9)	14.5 (87.7)	6.4 (84.6)	8.2 (86.3)	12.2 (86.0)	6.0 (88.1)	5.1 (80.0)	20.0 (80.7)
201～210	2.1	7.7	1.3	4.4	5.3	3.7	5.3	9.7	2.2
211～220 (220円以下)	2.9 (95.2)	1.9 (88.5)	2.2 (91.2)	2.0 (91.0)	3.2 (94.8)	3.2 (92.9)	2.7 (96.1)	4.0 (93.7)	4.8 (87.7)
221～230	1.5	3.2	3.3	4.0	2.7	3.6	1.2	2.9	3.0
231～240 (240円以下)	1.4 (98.1)	5.6 (97.3)	3.3 (97.8)	1.3 (96.3)	1.5 (99.0)	1.3 (97.8)	1.5 (98.8)	1.4 (98.0)	5.5 (96.2)
(240円以上)	(2.0)	(2.8)	(2.1)	(3.6)	(0.9)	(2.3)	(1.2)	(2.0)	(3.8)
241～250	0.8	1.3	1.0	3.2	0.3	1.5	0.5	1.0	1.9
251～	1.2	1.5	1.1	0.4	0.6	0.8	0.7	1.0	1.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資料：(社) 食品需給研究センター「牛乳の価格動向調査」

注意：1 四捨五入の関係で合計と一致しない。

2 消費税は含まない。

3 「牛乳の価格動向調査」終了に伴い、21年9月までのデータを掲載。

表 16：スーパーマーケットにおける牛乳 (1000ml)の価格帯別粗利益 (平成 21 年度)

牛乳1,000ml 紙容器

価格帯 (円)	仕入価格 (円)	粗利益 (円)	小売価格 (円)	粗利益率 (%)
平均	177.9	35.8	213.7	16.7
～150				
151～160	149.3	9.8	159.0	6.1
161～170	161.1	6.5	167.6	3.9
171～180	155.7	21.3	177.0	12.0
181～190	162.4	26.0	188.4	13.8
191～200	167.4	30.7	198.1	15.5
201～210	173.1	34.5	207.6	16.6
211～220	179.5	38.0	217.5	17.5
221～230	183.1	44.3	227.4	19.5
231～240	192.1	45.4	237.5	19.1
241～250	196.0	51.8	247.9	20.9
251～	214.0	57.9	271.9	21.3

資料：食糧需給研究センター「平成21年度牛乳の価格動向調査」